

令和6年度進捗状況に対する委員意見に関わる今後の町対応

重点事業プロジェクト	重点No	事業名	意見	今後の町対応(案)	担当課
トコトン 「まちを美しくしよう！」 プロジェクト	2	葛川の美化を推進	新規申込者に関する数値目標を達成できていないと捉えれば改善の余地がある一方で、魅力のある取り組みだからこそリピーターが多いという捉え方もできるため、事業の評価方法について検討してはいかがでしょうか。	数値指標となっている「葛川に親しもう会」は、子どもたちに自然環境保全の重要性について「気づき」を得てもらうために開催しています。より多くの方に「気づき」を得てもらうことが目的になることから、新規申込者に関する指標は重要なものと捉えています。	生活環境課
	3	生物多様性の保全を推進	情報提供回数の増加を目指すだけでなく、親子で楽しみながら学び、生物の情報を収集できるような体験会を開催するなど、生物多様性の保全を目指す「仕組みづくり」の創出にあたって施策を講じることができないか試行・検証してください。	生物多様性に関する体験型イベントの実施を検討してまいります。	生活環境課
トコトン 「地球にやさしくしよう！」 プロジェクト	5	町民の地球温暖化防止行動を促進	情報提供回数の増加を目指すだけでなく、若年層が高齢者層にスマホを活用した情報収集について教える場を創出するなど、地域内連携を進展させながら充実した周知を実施できないか試行・検証してください。	通いの場での出前授業の際に、町公式LINEの活用方法を周知する等の取り組みを始めました。地域内連携の可能性を模索しつつ、まずはできることから、着実に取り組みを進めてまいります。	生活環境課
	6	子どもたちの地球温暖化防止行動を促進			生活環境課
	7	ハザードマップ・防災情報アプリ等の活用を促進	今後更なるプロジェクトの推進が図られるよう、啓発回数などの数値目標の達成を目指すとともに、気候変動による甚大な災害がもたらす様々な変化に対しても、柔軟に対応できる情報発信を検討してはいかがでしょうか。	訓練や通いの場等での機会を用いた周知啓発を引き続き根気強く行っていきます。また、情報発信については防災行政無線、防災アプリ、メール、電話・FAXなど多様な配信を町民に提供しています。	防災安全課
	8	熱中症対策の推進	情報提供回数の増加を目指すだけでなく、若年層が高齢者層にスマホを活用した情報収集について教える場を創出するなど、地域内連携を進展させながら充実した周知を実施できないか試行・検証してください。	若者が高齢者層にスマホ操作を教える場を設けることについて、当課では、実施困難です。熱中症対策の推進については、防災無線、LINE、地域の通いの場などで周知を徹底していきます。	子育て・健康課
トコトン 「行動の輪を広げよう！」 プロジェクト	11	世界規模、地球規模での環境問題にかかわる教育・学習の推進	今後更なるプロジェクトの推進が図られるよう、教育機関との連携を強化して環境問題について学べる場の創出や、商工会や観光協会と連携して、子どもだけでなく大人も一緒に学べるような場の創出に取り組むことを検討してはいかがでしょうか。	小中学校を対象とした出前授業の実施を継続するとともに、教育機関や商工会、観光協会との連携強化に努めてまいります。	生活環境課
	12	環境に関する情報提供の推進	情報提供回数の増加を目指すだけでなく、年齢層に適した情報伝達手段を用いて効果的な情報発信ができていないか試行・検証してください。さらには、多様な町民力を生かし、計画に位置付けられた取り組みやアイデアが実現できるよう活動の輪がステップアップしていくことを期待しています。	広報紙やHP、SNSを用いた情報発信を引き続き行ってまいります。また、にのみや気候市民会議で作成した「市民提案書」や、こども版気候市民会議でもたちが考案したアイデアを実際に取り組みとして実現できるよう、努めてまいります。	生活環境課
	13	体験しながら環境について学ぶ機会の創出			生活環境課
	14	環境への想いをつなぐ場づくりの推進			生活環境課